

日刊 動労千葉

84. 7. 20

No. 1695

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

東富士軍用道路建設阻止

北富士を現地闘争

七・一五北富士全国総決起集会は、東富士軍用道路建設攻撃が強まる中で、北富士農民をはじめ闘う労働者学生農民市民一三五〇名が結集して北富士演習場のド真中で開催された。

動労千葉からは、この闘いに水野副委員長を先頭に青年部を中心に三〇名が参加し闘い抜いた。

命ある限り軍用道路建設を阻止する

広大な北富士演習場のド真中に設けられた集会場は、横断幕を背にした演壇の両わきに長大な赤布で作られた「東富士軍用道路建設阻止」「望月山盗り県政糾弾」ののぼり旗が立ち並び、さらに会場をつつむように「血戦梨ヶ原」の小旗とのぼりが立てられている。北富士農民の三十九年に及ぶねばり強い闘いといかなる権力の弾圧にも屈しない闘魂がみなぎっている。

勝利競争闘争ジェット塚三里

集会は、十二時四五分、忍草母の会天野事務局長の司会ではじまる。主催者を代表して忍草入会組合渡辺組合長、母の会渡辺会長から「軍用道路完全粉碎のため命あるかぎり闘う」「本日を期して決戦にうつて出る」「二期決戦に突入した三里塚反対同盟と手をたずさえて共に闘う」とのあいさつが行われた。



忍草母の会を先頭に市内デモ

日米共同演習阻止！ 入会協定締結！

富士を背に、北富士演習場のド真中で集会



動労千葉と三里塚が 10・10への決起を訴える

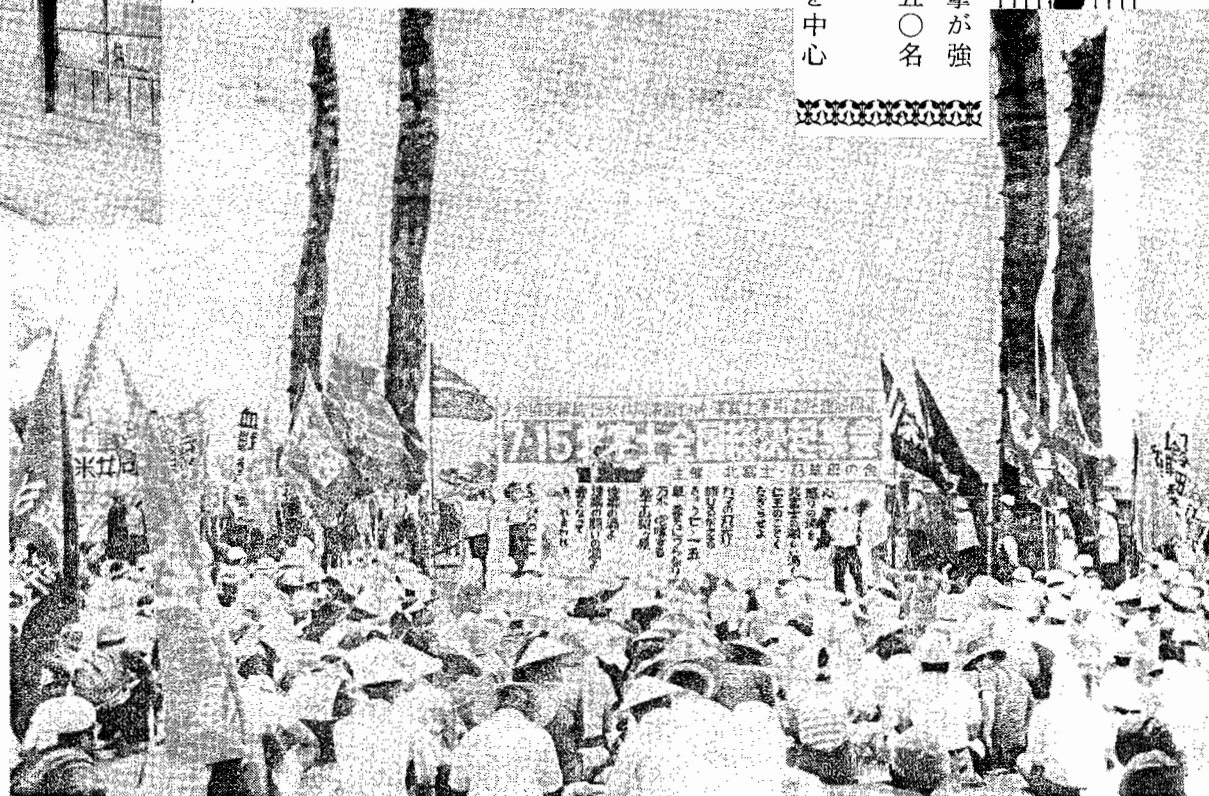
つづく連帯のあいさつでは、東京実行委、関西実行委、日本原、婦人民主クラブ、解放同盟荒本支部などの代表からそれぞれ発言があり、さらに特別アピールが三里塚反対同盟の北原事務局長・市東東市さん、郡司とめさん、

島村初枝さん、三浦五郎さんからそれぞれ緊迫する三里塚現地情勢の報告と当面する成田用水粉碎の闘いへの決起の訴えが行われた。

つづいて動労千葉の水野副委員長から「北富士、三里塚、関西新空港と決戦段階に突入した。国鉄でも過員攻撃など国鉄労働運動解体攻撃が激化している。全ての闘う者は、十・十へ大結集して、固いスクラムを組んで闘い抜こう」との発言がなされた。

集会終了後、富士吉田市内のデモ行進を行うため、バスで移動。

市内デモに移ると、多くの市民が沿道に出てきて見守ったり、あるいは、窓ごしに声援したり、作業や仕事の手を休めて注目する市民などなど。多くの富士吉田市民の熱い注視の中を「東富士軍用道路粉碎」「日帝の軍事大國化阻止」「反動中曽根打倒」の声をとどろかせながら圧倒的な市内デモを貫徹した。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！